

2022. 12. 21

松江市小中一貫教育だより NO.16

小中一貫教育推進係 文責:安部

「夢☆未来プレゼンター」名言集

今年度も松江市内の多くの学校で「まつえ『子ども夢☆未来』塾」が開催され、多くの子どもたちが、「夢☆未来プレゼンター」から仕事の内容ややりがい、その人の生き方や夢、ふるさと松江で働くことの意味などを聞いています。

今回は、これまでの「夢☆未来プレゼンター」からの名言を少し紹介しようと思います！

①「好きなことを犠牲にして 未来の自分に投資する」

「心を大きく育てるため 当たり前のことを バカにしないで ちゃんとする」

さんびる:田中 正彦さん

②「ものを売るため 信用してもらえらる自分をつくる あいさつ 返事 おじぎ ができること」

しまねトヨタグループ:村上 亮介さん

③「自分の好きなことに熱中していると人が集まってくる」

中村木材:平井 和久さん

④「自分の弱みを知ろう 弱みを意識し 行動を起こそう 周りに感謝して」

「人生は謎解きゲームに似ている」

NEW WORK STYLE:奈良井 健吾さん

⑤「ふるさとの将来を支えるのは この地で育ったみなさん以外にはない」

「自分の人生に価値を残す仕事を見つけて欲しい 建設業は地図に残る仕事 土木は地球の彫刻」

カナツ技建工業:金津 式彦さん

⑥「音楽は 心を穏やかに 地域を豊かに」

声楽家:野津 良佑さん

⑦「グローバルな視点をもった考え方を身に付けて お茶を通して日本文化の普及、そして交流…」

中村 茶舗:中村 寿男さん

⑧「他人の話を聞く 自分の考えが広がる」

TSK:奥村 亜希さん

⑨「自分が手がけた道路や建物で 地図を書き換えることができる」

松江土建:牧野 良治さん

⑩「今取り組んでいる学習は 一つとして無意味なことはない」

フジキコーポレーション:藤原 茂紀さん

⑪「会社は人を幸せにするために仕事する」

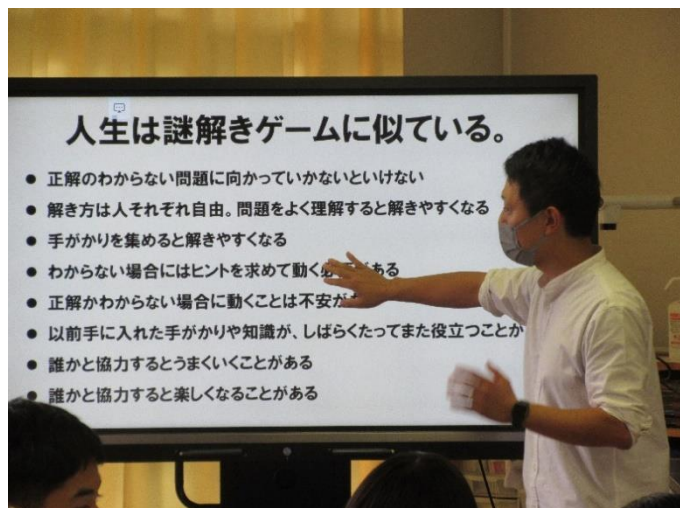
島根電工:荒木 恭司さん

どの言葉も実に重いものです。「夢☆未来プレゼンター」お一人お一人のこれまでの歩み、積み上げてきたものの証です。そして、その人にしか語ることができない、その人だからこそ語れる言葉です。

プレゼンターと出会い、そのお話を聞いていた子どもたちの頭にはどのような映像が浮かび、何を思ったのでしょうか。この経験は、将来の自分をつくる一助になるはずです！

今年度は、3名の新たな分野の「夢☆未来プレゼンター」を加えて実施し、市立小・中・義務教育学校の計36校、児童生徒2508名で実施予定となっています。そして、今年度は、特別支援学級で授業公開日と併せて実施し、その後に「働くこと」についてみなで協議するなど新たな動きも見られました。また、他市の教育関係者か

ら本事業についての問い合わせを受けるなど、関心の高さも知ることができました。今後、この「まつえ『子ども夢☆未来』塾」がさらに充実・深化していくことを願って止みません。



たいへんお世話になりました。～職場体験～

中学校、義務教育学校後期ブロックがおこなっている「職場体験」。「仕事内容だけでなく、地域で働く人々の姿から働くことの魅力や課題を知り、社会の一員として自分のできることをイメージしたり課題解決に向けて多角的に考えたりする態度を養う」ことをねらいに実施しています。

この職場体験ですが、コロナ禍で縮小や中止をここ数年余儀なくされていましたが、今年度、ほとんどの学校で工夫を凝らして実施していただきました。子どもたちのために、本当にありがとうございました。

○「でかけることが無理ならば、来てもらう」

事業所に子どもたちが出かけしていく形態はもちろんのこと、いくつかの事業所に学校に来てもらい、「まつえ『子ども夢☆未来』塾」のように講話を聞くという形態がありました。学校独自、地域性を生かした方のお話は、きっと子どもたちの心に残ったと思います。先生方、コロナ禍で調整等たいへんだったと思いますが、本当にお世話になりました。



○「地域学校コーディネーターさんの活躍」

多くの事業所に声をかけ、子どもたちが安心して職場体験ができる場所を見つけてくださったと聞いています。中には、校区の新規を含む30社に出かけ、繰り返し事業の説明をすることで20社の理解を得ることができたという学校もありました。地域に生き、地域のことをだれよりも知っているコーディネーターさんだからこそ成せる業だと思いました。コーディネーターさん、実際に体験した子どもたち、そして、受け入れ側の地域の事業所の方々…多くの人の思いがつながりあい、「ふるさと」をさらに元気にする職場体験になったようです。